

新見ばやし

作詞 大池貞治
作曲 逸見芳春

ヨイヨイ ヨーイ ヨイヨイバー
ヨイヨイ ヨーイ ヨイヨイバー

- 一 関の殿様 子猫が好きで
赤い首輪に 鈴つけた
- 二 子猫走れば チロリンリンと
鈴がよう鳴る 銀の鈴
- 三 わしが在所の 山にはヒノキ
鳴くようぐいす 紅つつじ
- 四 せりの千屋牛 手綱(たずな)を離しや
いとし心が 手に残る
- 五 発破とどろき 煙が晴れりや
残る切羽(きりは)の 白い肌
- 六 下に下にと 青竹きや太い
土下座祭りの 先ばらい
- 七 やんさ押せ押せ よいそりや太鼓
しやなり舞い出(で)し 稲田姫
- 八 峰に灯がつく 鶯が巢山の
市民祈りの 火が赤い
- 九 牛車(ぎっしゃ)きしるよ 梅鉢(めいぼ)紋
天神様の 御渡(おんわた)り
- 十 百衣(びやくい)清らに ミス天神の
舞は浦安 めでたけれ
- 十一 備北の山河 ホラの音響き
城主五十の 勢ぞろい
- 十二 かなしゆずりは 元範(もとりのり)様は
末は早乙女(さおとめ) 岩の露
- 十三 カンナ流して タタラを踏んで
昔なつかし 砂の鉄
- 十四 伝えつがれし 郷土の芸に
祖父の心と 土の香が
- 十五 新見ふるさと 祭りはエーゾ
後生(ごせい)楽(ら)だよ 来てみんせえ
- 十六 新見ばやしは 夜びて踊れ
鈴が鳴る鳴る 夜は白(しら)む